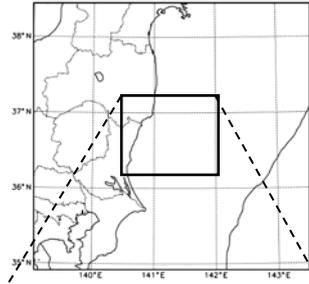


10月27日 茨城県沖の地震

広域図

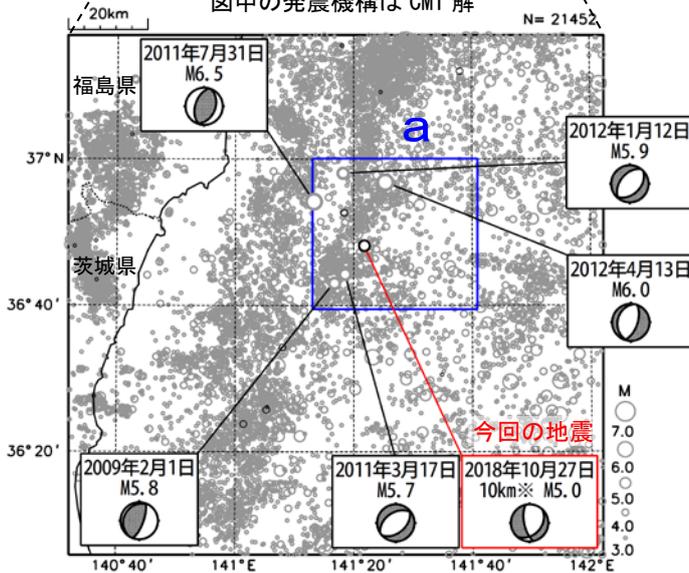


震央分布図

(1997年10月1日~2018年10月31日、
深さ0~60km、 $M \geq 3.0$)

2018年10月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解



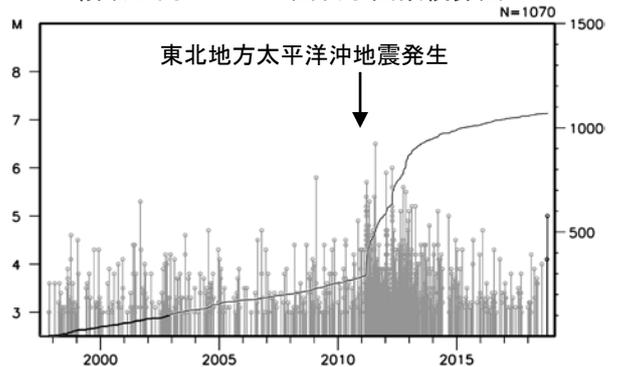
※2018年10月27日の地震の深さはCMT解による

2018年10月27日09時08分に茨城県沖の深さ10km(CMT解による)でM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は東西方向に張力軸を持つ型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.0以上の地震が時々発生している。また、2011年7月31日にM6.5の地震(最大震度5強)が発生するなど、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が活発となった。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が時々発生している。このうち1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm(全振幅)の津波が観測された(「日本被害地震総覧」による)。

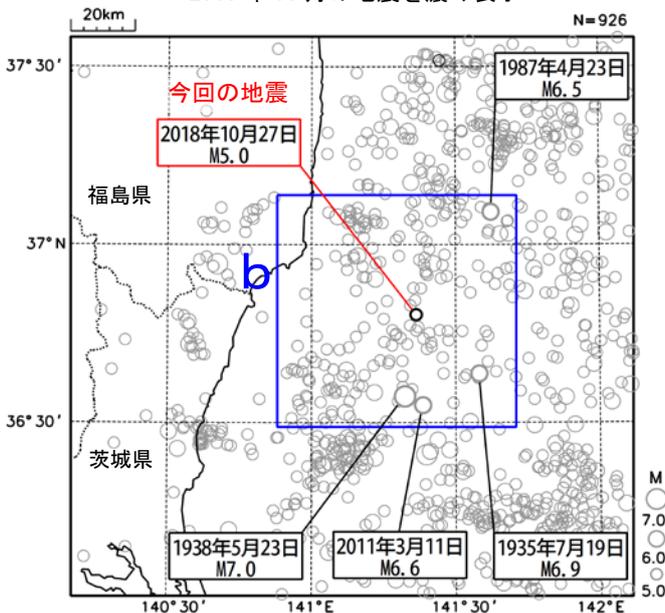
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日~2018年10月31日、
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$)

2018年10月の地震を濃く表示



領域b内のM-T図

